

**問2** 改正国民健康保険法が成立し、国民年金保険料の滞納者に対して、有効期間が通常1年の国民健康保険被保険者証の代わりに、数か月の効力しかない短期被保険者証を発行することができるようになる。

**答** しかし、窓口での混乱を招くと同時に、国民健康保険税の収納率が低下する要因にもなりかねないことから、発行は見送るべきだと思つが、どう考えているのか。

**答** 国民年金保険制度と国民健康保険制度は、それぞれ別の目的を持って運用されており、国民年金保険料の滞納者に対する国民健康保険制度における罰則となる短期被保険者証の発行は、市民の理解は得られず、制度的にもそぐわないのではないかと認識している。

**周桑病院と教育現場の今後は？**  
(自民クラブ)

**問1** 総務省の公立病院改革懇談会がまとめた「公立病院改革ガイドライン(案)」では、国が公立病院を運営する地方自治体に、経営効率化に向けた改革プランを平成20年度内に策定し、具体的な数値目標を設定するよう求められているが、周桑病院での取り組みと今後の見通しを問う。

**答** 周桑病院では、既に深刻な医師不足による診療機能の

大幅な低下及び財政面の危機的な状況を打開するため、「経営改善プロジェクト」を設置し、医師確保施策はもちろんのこと、運営の効率化及び今後の経営形態のあり方についても調査・検討を進めている。「地域において真に必要な公立病院の持続可能な経営を目指し、経営の効率化を図る」という今回のガイドラインの趣旨は、このプロジェクトの目的と合致するものであり、市民の命と健康を守るという観点から、「改革プラン」を平成20年度に策定したいと考えている。

**問2** 文部科学省は、平成20年3月をめどに改訂学習指導要領を告示し、早ければ平成23年度の実施に向けて作業を進めている。30年ぶりに授業時間数が増加に転じるが、最も影響を受けるのは学校現場と児童生徒である。現状でも時間に追われ、子どもと向き合う時間を確保できないと悩んでいる先生は多いと聞く。この状況をどうとらえ、どのように取り組むのか。また、全国的に教師の過労死やうつ病を発症する事例の増加が報道され、憂慮すべきことであるが、市内の小中学校の現状とその対応を問う。

**答** 今回の授業時間数増を負担過重ととらえるのではなく、教師や児童生徒にとって必要かつ妥当なものと考えている。教育委員会では、国の動行等を踏まえ、「西条

市の教育再興をめざして」の提言を受けて、本年度より、教師の資質向上、小・中学校の連携の強化、豊かな心とたくましさ育てる場の設定などに取り組んでいるところである。

教師の健康状態に関しては、過労死の報告は1件もないが、現在、精神性疾患による休職者が3名いる現状を踏まえ、学校と連携した心の不健康状態にある教職員の早期発見と早期対応、温かい職場づくりや学校の協働体制確立のための指導助言、メンタルヘルスマスターや相談事業への参加奨励、復職後の継続的なサポートなどを行っている。

**えひめ国体開催に向けての体育施設の維持管理は？**  
(リベラル西条)



国体開催を待つひうち球場

**問** えひめ国体の平成29年開催の内々定があり、1次内定で当市は軟式野球大会の開催地と

して、ひうち球場・東予運動公園野球場が候補に上がっているが、その他の競技については、今後どのように対応していくのか。

ひうち球場・東予運動公園野球場は、学童・学生から社会人野球まで、大会開催などに利用率が高く、グラウンドの維持管理については他市・他県のチームからよく賞賛を受ける。しかし、両球場とも築十数年で経年劣化が激しく、特に音響関係・通信関係・バックスクリーン・スコアボードの傷みがひどい。大きな大会の誘致に当たり、報道関係室・大会運営室・救護室・審判室・更衣室・シャワー室などの整備不足を感じ、球場の大きさも一回り大きく欲しいが、国体に向けた今後の改修・改造計画を長期的にどう考えているのか。

**答** 現在、高地トレーニング環境や交通の利便性など地域資源の優位性で、交流人口の拡大と関連産業の振興による地域活性化を図る「合宿都市構想」に取り組んでいるところであるが、この施策の実現のため、高地トレーニング構想・次世代育成支援スポーツ事業等の推進とともに、財政状況等も勘案した計画的な各種施設の整備にも取り組んでいる。

えひめ国体もこの延長線上にとらえており、国体競技会場としてできるだけ多くの種目を誘致したいという姿勢で臨んでいる。また、ひうち球場・東予運動公園野球場は、各々年間50万人程度

の利用があり、高校野球県予選や愛媛マングリンパイレーツの公式戦などに幅広く活用されているが、グラウンドの整備状況に対して、耐用年数等の関係による設備面での一部不都合が指摘されているほか、経年による塗装等の修繕の必要性も認識している。

今後、ひうち球場のスコアボードや放送設備の改修、さらには野球関係者から要望されている拡張も含めて、財政状況も勘案しながら検討し、対応していきたい。

**円山森林公園の現状、そして将来は？**  
(無党派)

**問** 円山森林公園は、国から面積36万2千9平方メートルを2億700万円で平成5年に譲り受けたものであるが、園路の整備は進んだものの、当初の森林公園としての整備計画の達成はふじゅうぶんであった。現在の管理状況と今後の当面的な整備について問う。

同公園は、山岳観光の拠点の一つとして位置付けるとともに、園芸等の教育の場としての整備も考えていた。用地取得後14年が経過する中、既に最終的な方向を決めるべき時期に来ていると考えながら、将来計画を問う。

**答** これまで同公園は、周回道路と畑などに使われていた場所の整地等の整備を行ってきた。整地箇所は、これまで花畑として、